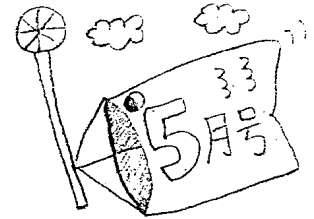




ゆり組だより

平成29年5月19日 ときわ保育園 担当 油原



進級してから1ヶ月が経ち、年長児としての自覚も増したようで、様々な活動や日々の生活からも頼もしさを感じられるようになりました。

爽やかな風が心地良い季節になり、戸外に出掛け、散歩を大いに楽しんでいまして、草花を見つけると「おさんぽずかん」をすぐに開いて、名前を調べる子ども達。「オオイノグサでゆらんだら」「これはお豆がたくさん見えるから...カラエインドウだ!」と、難しい名前の草花にも詳しくなり、アリやんとう虫、ちょうちんにダシゴムシ、カエル... いろいろな虫にも興味津々です。

ところで先日、オペレッタで自分が着た衣装を再利用して、こいのぼり製作を行いました。「これなんだ!」と見本を見せると「うん... あ! オペレッタの衣装!」「大きいね! すごいね!」と大興奮。製作中もオペレッタの思い出話で盛り上がりたり歌を口ずさんだりと賑やかな雰囲気の中で楽しく取り組んでおりました。「僕はトルドだから茶色のこいのぼりだよ」「私はきらきらとんたから黄色のと、めずらしい色合いのこいのぼり達が完成し、みんなで園庭に出て走ってこいのぼりを泳がせて遊んだり、風を受けてひらひらと揺れる自分のこいのぼりを見て嬉しそうにしている様子が印象的でした。自分が着た衣装で製作から遊びまでを通し、愛着を持ってくれたようでした。今後も廃材を使った製作や遊びを取り入れ、楽しさを知ると共に、物を大切にする気持ちと育んでいきたいです。

